

記念賞
応募あわたがわりゅういきのうち・みず・かんきょう まも かい
栗田川流域農地・水・環境を守る会

～地域資源を活かす有機の里～



令和5年・34回目の田植交流会



水路の落ち葉収集と堆肥化

取組内容

- 地域資源を活用した米生産の実践と、環境に配慮したSDGsの取組。
- 生産者・消費者との農業交流を目的に、春の田植交流会、秋の収穫感謝祭を継続して実施。
- 小学校、保育園、一般消費者に向け、農業体験を通じた食育、農村文化の伝承。

前回選定後の情報発信の取組

- SDGsの取組や子供たちが米作りを学べる動画などを多数作成し、DVD、ホームページ、YouTubeなどで発信。
- 広報誌「栗田川流域通信」を発行し、食農教育、農村文化、農業・農村・環境を守る取り組みなどを紹介。
- 広島県内の新聞各社に掲載、また数社のテレビ局放映計5回。
- G7広島サミットにおいて当地域のお米が使用された。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 地域資源の循環活用～水路の落ち葉、牛糞、もみ殻燻炭、竹パウダーなど地元有機資材を堆肥化し、米作りに活用。稲わら、畦畔草を和牛に給与している。
- SDGsの取組み～メーカーや農業指導機関と連携し水稻の展示ほ場で行った肥料・農薬の試験結果は、JA米の栽培ごよみの指針となった。スマート農業、マイクロプラスチック削減、ネオニコチノイドフリー栽培にも取り組んでいる。
- 農村交流の取組み～田植え交流会は34回を迎え、農村と都市の関係人口の拡大。

応募団体からのアピール・メッセージ

消費者と交流し情報交換を続けたことが、ネオニコチノイドフリー米の販売やGAPの取得につながった。

今後も交流会や食育を通じ、農村×都市の人の結びつきを広げ深化を続けたい。

住所・電話番号・SNS等

庄原市東城町栗田2939(株式会社藤本農園内) Tel:08477-2-2528

記念賞
応募つなみしんこうかい
津浪振興会

～農村の原風景を維持し、住みよい誇りの持てる地域づくり～



ぷらっとホーム12周年



希少植物保護活動

取組内容

○産直市と交流施設「ぷらっとホームつなみ」を中心に、春はカタクリ等希少植物保護活動、初夏にホタル観賞会、小学生による、さつま芋植え付け体験や夏休みに太田川でのアマゴつかみ取り体験交流、秋には神楽の伝承活動等を行い、地域を活性化する取り組みを継続している。

前回選定後の情報発信の取組

○希少植物の保護活動を継続し、看板を整備することで、毎年観光客が増加し、ホソバナコバイモ・カタクリの開花時には、毎年地元新聞で取り上げられる。
○「ぷらっとホームつなみ」に令和5年8月、地域おこし協力隊員の派遣が決定し、これまで取り組めていなかった情報発信を行うことで、新たな客層の開拓に繋げ、さらに売り上げ増を図っている。

前回選定後に発展させた取組及び成果

○タガメやゲンゴロウ等水生生物の復活を図るため、広島女学院大学と連携しビオトープ整備に取り組む。隣接の畑で小学生と、さつま芋の植え付け等に取り組み、食について体験を通じた学習に取り組む。学生との交流により地域に活気が生まれた。
○活動を継続することで、「ぷらっとホームつなみ」は、売り上げを伸ばすことが出来ている。特に移住者の方が野菜や加工品等の販売先として期待されている。
○令和4年「つなぐ棚田遺産」の認定を受け、景観維持の励みとなっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

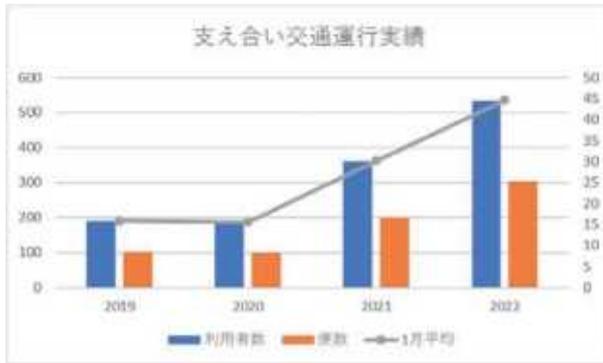
自治振興組織「津浪振興会」は昭和15年の創立から80年以上となり、430年の歴史持つ「津浪太鼓踊り」は県無形民俗文化財の指定50年を迎え、継続した活動が地域に誇りを与え、そして地域活性化に繋がっている。

住所・電話番号・SNS等

安芸太田町津浪517 Tel:0826-22-0893

記念賞
応募かわにしじちれんごうかい
川西自治連合会

～生活拠点の新たな活用を目指して動き始めた～



支え合い交通利用実績の推移



川西あずきプロジェクト

取組内容

- 住民出資の経済組織「株式会社川西郷の駅」と地区全体で構成する自治連合会の2層構造により、農地・農業を守り、雇用の創出と地域内の経済循環を形成。
- 少量多品目の農産物でも収益があげられるように、農村型コンビニを中心に、産直市、軽食堂部門などを併設した、地域生活交流拠点「川西郷の駅」を運営。

前回選定後の情報発信の取組

- 地域内外の人と、交流のきっかけの場を作るために、令和5年度から「お出かけカフェ」を立ち上げて、新しい出会いや昔馴染みとの再会を楽しんでいる。
- 川西郷の駅でかしわ餅や草餅を製造して販売しているが、その原料である小豆をすべて地元産に切り替えることを目標に、「あずきプロジェクト」を設立し、ふるさとの小豆を復活させようとチャレンジしている。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 平成29年12月から実証試験をスタートした移動サービス(支え合い交通)について、利用者から「地域にとって必要なサービスだ。」などと好評であったことから、地域の農事組合法人などと連携し、「支え合い交通未来検討会議」を立ち上げ、移動サービスの持続的なサービスのあり方を検討するなど、中山間地域の地域経営という形が出来つつある。

応募団体からのアピール・メッセージ

川西地区では、どんな未来が来ようとも、自分らしく、いきいきと暮らし続けることができる地域を目指し、自ら複合的なサポートができる仕組みを作り、行政の支援や企業の知見も得ながら、自分たちで地域経営のあり方を今後も考えていく。

住所・電話番号・SNS等

三次市三若町2651-1 Tel:0824-69-2526

